

館報

第 30 号



2024

静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	3
1-2	沿革	4
2	概要	
2-1	登呂博物館	7
2-2	登呂遺跡	7
3	管理運営	
3-1	利用状況	8
3-2	利用者数詳細	8
3-3	入館者数推移	9
3-4	観覧者数推移（リニューアル後）	9
3-5	体験学習等利用状況	10
3-6	組織	11
3-7	予算・決算	11
4	展示	
4-1	特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」	14
4-2	夏季企画展「登呂遺跡で考えるSDGs」	16
4-3	秋季企画展「アンダー・ザ・駿府城」	18
4-4	冬季企画展「登呂遺跡と海」	20
4-5	春季企画展「古代の稲作と実験考古学」	22
4-6	特別展・企画展開催実績（リニューアル後）	25
4-7	通常展示	27
5	保存活用	
5-1	修理事業	28
5-2	資料貸出	29
5-3	寄贈	29
6	教育普及	
6-1	主催事業	30
6-2	共催・連携事業	35
6-3	講師派遣・出張講座	37
7	職場体験・博物館実習等	
7-1	職場体験	39
7-2	視察等受入	39
7-3	博物館実習	39
8	広報	
8-1	広報印刷物	40
8-2	ウェブサイト・SNS	41
8-3	報道・広告等	42
8-4	トロペー	45
9	その他	
9-1	博物館ボランティア	46
9-2	博物館協議会	48
10	利用案内	50

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



登呂博物館ロゴマーク

また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今日までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。そうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。
2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。
3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。

4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基いて復原整備を行うと共に、より多く人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエントランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とするとともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1-2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8~9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7~9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鋤入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて 『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催
昭和 40 年 (1965)	7~8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される
昭和 43 年~47 年 (1968~72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館

昭和 47 年～53 年（1972～78）		水田跡を復元整備
昭和 49 年（1974）	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年（1978）	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定（48,300 m ² ）
昭和 56 年（1981）	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年（1984）		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催（シンポジウムほか）
昭和 63 年（1988）	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稲作農耕の起源と展開」開催
平成 2 年（1990）	6 月	「弥生人体験クラブ」結成
平成 4 年（1992）	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年（1993）		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催（シンポジウムほか） 「市民水田」事業の開始
平成 6 年（1994）	3 月	博物館リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとしてオープン
平成 7 年（1995）		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年（1999～2003）		登呂遺跡再発掘調査（第 19 次～23 次調査）
平成 15 年（2003）	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年（2004）	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年（2006～2011）		登呂遺跡再整備
平成 19 年（2007）	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年（2008）	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座 ～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 -弥生農村の実像を求めて-」開催
平成 21 年（2009）		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロペー」誕生
平成 22 年（2010）	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年（2011）	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催（全国巡回展の一会場として）
平成 28 年（2016）	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月	重要文化財指定記念イベント「とろエンナーレ 2016」開催
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年（2018）		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催
平成 31 年（2019）	10 月 1 日	登呂博物館公式 Twitter「トロペーのひとりごと」運用開始
令和 2 年（2020）	1 月	登呂博物館新公式ホームページ公開
	4～5 月	新型コロナウイルス感染拡大防止により休館
令和 4 年（2022）	10 月	登呂博物館屋上にベンチ新設
	10 月 22.23 日	登呂博物館開館 50 周年、特別史跡指定 70 周年記念事業 秋の収穫祭「ハッピートロウィン」開催
令和 5 年（2023）	2 月 25 日～	登呂博物館開館 50 周年、特別史跡指定 70 周年記念

	特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」の開催
3月4日	関連シンポジウム①「登呂の時代と祭祀」開催
3月5日	関連シンポジウム②「弥生時代墓制の変化と社会」開催
5月	登呂遺跡発見 80 周年記念事業 田んぼアート実施
6月27日～ 7月11日	登呂遺跡発見 80 周年記念事業 出張博物館 in しずチカ開催
8月5.6日	登呂遺跡発見 80 周年記念事業 とろムラ体験フェスティバル開催
10月7～14日	登呂遺跡発見 80 周年記念事業 登呂遺跡特別ライトアップ実施
令和6年(2024) 3月16.17日	登呂遺跡発見 80 周年記念事業 国際シンポジウム ①「日韓における史跡の整備と活用の今後」 ②「農耕空間の多様性と弥生農耕の形成」開催

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和 47 年 4 月 1 日
リニューアルオープン 平成 22 年 10 月 3 日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階

イ 面積 建築面積 1,259.64 m²

延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	96.65
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.82
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場	53.51
教育普及	交流ホール（収蔵庫除く）	160.18
交流	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)

展示設計 株式会社丹青社

建築工事 木内建設株式会社

電気工事 近和電業株式会社

衛生工事 大和工機株式会社

空調工事 内川工業株式会社

昇降機工事 株式会社日立製作所

展示工事 株式会社丹青社

展示情報工事 NEC ネットズエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格

特別史跡、都市公園（登呂公園）、一時避難地

(2) 面積

総面積 約 66,000 m²※

(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

※特別史跡に博物館・美術館・銚介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住 居 5 棟※^{1,2}

高床倉庫 3 棟※¹

祭 殿 1 棟

※1 各 1 棟は昭和年間に設計のもの

※2 1 棟は鉄骨造 GRC パネル貼り構造

イ 設計 昭和－関野克 平成－宮本長二郎

(4) 復元水田 面積 約 21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等

静岡市観光交流文化局文化財課

イ 芹沢銚介美術館

静岡市観光交流文化局文化振興課

ウ 登呂公園（学びの広場、園路など）

静岡市都市局都市計画部緑地政策課、
公園整備課

エ 駐車場運営

公益財団法人するが企画観光局

営業時間 8:30 - 17:00

料 金 普通車 400 円、バス 1,500 円

オ ミュージアムショップ運営

ショップ・イイジマ

3 管理運営

3-1 利用状況

令和5年度博物館利用状況（）内は前年度の値

開館日数 304日（300日）

入館者数 165,820人（161,181人）

観覧者数 37,889人（41,162人）

団体見学 316団体※（359団体） ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 利用者数詳細（単位：人）

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料観覧者数	一般	個人	1,088	1,674	775	1,140	1,967	1,021	1,076	1,046	606	924	1,050	1,371	13,738
		団体	0	4	30	0	0	43	148	44	0	32	100	72	473
		回数券	15	21	21	0	67	6	10	51	27	17	21	37	293
		助成券	18	23	8	12	25	7	25	13	7	13	11	15	177
		共通個人	323	498	174	286	541	415	403	333	111	355	375	232	4,046
		共通団体	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9
		小計	1,444	2,220	1,008	1,438	2,609	1,492	1,662	1,487	751	1,341	1,557	1,727	18,736
	高校・大学生	個人	64	85	41	103	223	95	48	46	27	53	83	164	1,032
		団体	0	30	0	0	0	0	0	78	0	0	0	0	108
		回数券	0	0	0	0	10	0	0	5	0	0	0	10	25
		助成券	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	5
		共通個人	12	39	10	14	35	17	233	10	3	23	31	31	458
		共通団体	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	31
		小計	76	155	51	118	300	112	281	139	30	77	114	206	1,659
	小・中学生	個人	227	376	104	297	870	144	136	113	49	156	176	303	2,951
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	2	15
		回数券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15
		助成券	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
		共通個人	15	38	4	22	102	15	8	7	0	15	15	12	253
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	244	414	108	320	973	159	144	120	49	171	204	332	3,238
	合計	1,764	2,789	1,167	1,876	3,882	1,763	2,087	1,746	830	1,589	1,875	2,265	23,633	
無料観覧者数	一般	学校行事	35	77	248	78	3	36	56	44	35	12	8	9	641
		身障者	91	134	54	77	148	78	126	88	42	86	80	92	1,096
		老年者	34	43	13	17	40	35	80	61	12	41	25	36	437
		施設	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
		視察等	0	0	0	0	5	3	21	0	5	0	0	0	34
		その他	4	5	6	2	10	0	8	4	5	3	13	6	66
		小計	164	259	377	174	206	152	291	197	99	142	126	143	2,330
	高校・大学生	学校行事	0	29	0	5	0	0	9	0	0	3	0	0	46
		身障者	3	0	0	1	1	11	1	0	2	0	1	0	20
		研究	0	0	0	0	0	0	13	0	31	0	0	0	44
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9
		小計	3	29	0	6	1	11	23	0	33	12	1	0	119
	小・中学生	学校行事	546	1,291	4,058	1,079	6	503	604	486	553	230	107	201	9,664
		身障者	28	9	15	9	34	9	8	9	9	7	9	9	155
		市内	39	113	64	65	166	38	99	78	10	25	60	35	792
		キッズ	39	110	57	67	142	31	34	22	12	31	46	33	624
		幼児	37	60	30	32	109	60	29	46	14	40	69	46	572
		施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	689	1,583	4,224	1,252	457	641	774	641	598	333	291	324	11,807
	合計	856	1,871	4,601	1,432	664	804	1,088	838	730	487	418	467	14,256	
総計	観覧者	2,620	4,660	5,768	3,308	4,546	2,567	3,175	2,584	1,560	2,076	2,293	2,732	37,889	
	総入館者	10,155	16,790	17,086	12,929	18,836	10,699	28,932	10,794	7,085	8,728	10,859	12,927	165,820	

3-3 入館者数推移（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
31(1)	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568
2	2,510	0	7,346	8,547	10,893	10,630	15,254	15,887	6,928	4,434	6,691	8,048	97,168
3	7,490	15,593	14,226	10,118	8,404	5,351	11,088	16,343	8,300	5,955	5,507	9,757	118,132
4	10,303	18,380	17,329	13,594	15,429	10,666	28,270	10,708	7,674	8,039	8,888	11,901	161,181
5	10,155	16,790	17,086	12,929	18,836	10,699	28,932	10,794	7,085	8,728	10,859	12,927	165,820
リニューアル後（H22～R5）													2,285,532
旧博物館（S47～H19）													6,954,504
合 計													9,074,216

3-4 観覧者数推移（リニューアル後）（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	9,306	6,407	3,000	4,163	5,161	4,216	32,253
23	9,128	10,711	6,290	4,514	7,763	4,169	7,023	5,101	2,178	3,105	3,066	3,360	66,408
24	8,049	9,541	4,368	3,442	8,222	3,873	3,841	3,782	1,942	2,484	3,240	3,362	56,146
25	6,705	9,172	3,746	2,772	6,268	2,699	3,780	3,359	1,515	2,169	1,736	3,112	47,033
26	7,116	9,031	3,640	2,284	6,096	2,686	3,367	2,802	815	1,873	2,036	2,210	43,956
27	7,287	7,045	3,283	2,725	4,863	3,506	2,875	2,418	929	1,713	2,144	3,708	42,496
28	7,656	7,957	3,795	3,263	4,894	2,603	3,288	2,613	1,555	2,307	2,552	3,329	45,812
29	6,600	6,136	4,125	3,035	5,734	1,881	3,104	2,347	1,003	2,462	2,676	2,688	41,791
30	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425
31(1)	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257
2	188	0	1,929	2,386	4,113	3,505	5,194	4,360	2,106	1,097	2,072	2,377	29,327
3	2,534	4,602	5,077	3,449	2,626	1,374	3,800	5,274	2,943	1,728	1,700	3,193	38,300
4	3,108	5,819	5,514	4,347	4,253	2,962	3,646	2,230	1,948	1,984	2,228	3,123	41,162
5	2,620	4,660	5,768	3,308	4,546	2,567	3,175	2,584	1,560	2,076	2,293	2,732	37,889
合計													599,255

3-5 体験学習等利用状況

(1) 屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習(火おこし、土器炊飯)の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの実演
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して
登呂遺跡で栽培していた可能性がある赤米を炊飯・試食に供している
- ・「屋外体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数1～4人)が対応

月	来場案内者	火起こし
4	8,730	1,628
5	14,660	2,421
6	15,566	4,714
7	11,355	2,357
8	15,550	1,643
9	8,825	1,517
10	23,390	1,731
11	9,345	1,505
12	6,130	1,267
1	7,230	1,227
2	9,105	1,234
3	10,710	1,815
合計	140,596	23,059

(2) 弥生体験展示室

- ・体験学習の実演(臼と杵による脱穀・穂摘み・田下駄)及び解説、パンフレットの配布
- ・貫頭衣着用・丸木舟・土器パズル等体験実施
- ・「体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数2～3人)及びボランティアスタッフが対応

(3) 図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・こども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・利用者 令和5年度：6,424人
- ・音声ガイドの貸出 利用者：291人
- ・会計年度任用職員(常置職員数1～2名)が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

(4) 情報・映像コーナー

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・「子ども学芸員養成講座」による展示(8月)
- ・博物館実習生による展示(8月～9月)
- ・静岡市文化財課による展示(9月)
- ・「トロペーの博物館案内」(映像案内)を常時上映

3-6 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課

- └ 文化財保護係
- └ 埋蔵文化財係 ─ 埋蔵文化財センター
- └ 三保松原文化創造センター
- └ 登呂博物館

≪登呂博物館職員数≫

職員数 19 人・・・登呂博物館長 1 人、副主幹 1 人、主査 1 人、主任主事 1 人、主事 3 人、
会計年度任用職員 12 人

≪その他≫

博物館ボランティア・・・46 人（令和 5 年 4 月 1 日時点）

3-7 予算・決算

（１）令和 5 年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額（歳出も同様）

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	5,571,000	5,760,580	博物館観覧料
文化財保護費補助金 （国庫補助金）	1,633,000	1,631,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 （出土品保存修理事業）
使用料	10,000	10,500	博物館施設使用料（行政財産：電柱等）
土地貸付収入	3,632,000	2,764,754	一般土地貸付料（普通財産：駐車場土地ほか）
各種発行物売払収入	475,000	498,970	図録売払収入
教室等会費収入	334,000	150,100	講座・講演会参加料
雑収	205,000	136,204	社会教育費雑入（ミュージアムショップ光熱費）
合計	11,860,000	10,952,108	

（２）令和 5 年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	623,000	562,575	
光熱水費	(593,000)	(534,305)	電気代・水道
光熱水費（政策）	(200,000)	0	電気代
（維）修繕料	(30,000)	(28,270)	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	842,000	794,527	北側ガイダンス施設トイレ清掃委託ほか
合計	1,665,000	1,357,102	（ア）

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
<文化財保護管理費>			
需用費	1,104,000	1,003,756	
消耗品費	(257,000)	(256,605)	水田管理用品ほか
燃料費	(30,000)	(24,002)	耕運機燃料ほか
光熱水費	(443,000)	(416,700)	電気・ガス・水道代
光熱水費（政策）	(64,000)	0	電気代
(維)修繕料	(310,000)	(306,449)	遺跡修繕費
役務費	54,000	37,969	電話代ほか
委託料	5,787,000	5,762,082	遺跡清掃、植栽、修理業務委託ほか
委託料（政策）	570,000	517,000	燻蒸業務
<文化財整備活用事業費>			
旅費	91,000	86,880	出土品修理の指導監督に係る旅費
消耗品費	5,000	4,480	パネルほか
委託料	3,172,000	3,112,746	重要文化財登呂遺跡出土品保存処理業務
合計	10,783,000	10,524,913	(イ)

ウ 給与費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	184,000	172,500	博物館協議会委員報酬
合計	184,000	172,500	(ウ)

エ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報償費	485,000	224,180	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	430,000	399,483	展示準備関係旅費ほか
需用費	18,800,000	17,151,359	
消耗品費	(1,418,000)	(1,406,232)	一般事務及び管理用品ほか
燃料費	(2,000)	(1,908)	
食糧費	(10,000)	(4,400)	
印刷製本費	(2,454,000)	(2,425,939)	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	(7,737,000)	(6,138,370)	電気・水道代
光熱水費（政策）	(3,100,000)	(3,100,000)	
(物)修繕料	(4,000)	(0)	物品等修繕料
(維)修繕料	(4,075,000)	(4,074,510)	博物館施設修繕工事費
役務費	1,718,000	1,358,736	電話代・クリーニング代ほか
委託料	23,455,000	23,097,540	施設管理のための業務委託ほか
委託料（政策）	3,006,000	2,781,642	登呂遺跡補植業務委託ほか
使用料及び賃借料	6,252,000	6,159,110	複写機使用料、システム使用料ほか

備品購入費	291,000	290,840	A1 プリンター
負担金、補助及び交付金	94,000	88,000	日本博物館協会負担金ほか
合計	54,531,000	51,550,890	(エ)

オ 観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	1,388,000	1,388,000	登呂まつり補助金
合計	1,388,000	1,388,000	(オ)

カ 歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	68,551,000	64,993,405	(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) + (オ)

4 展示

4-1 令和4年度特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」

会期：令和5年2月25日（土）～ 5月21日（日）

≪72日間≫

概要：登呂遺跡で発見されていない墓や埋葬のスタイルについて、有東遺跡など周辺の発見例や最近の発掘情報を比較しながら紹介しました。

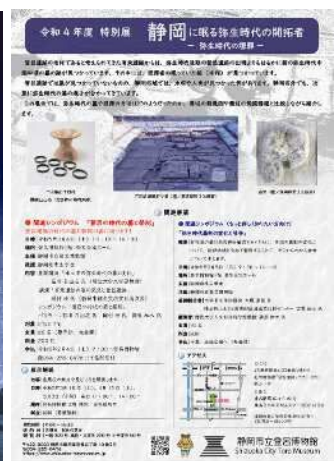
観覧者：9,016人

一般	5,828人
高校生・大学生	447人
小学生・中学生	2,741人

点数：131点

資料協力：大阪市文化財研究所

掛川市文化・スポーツ振興課、函南町教育委員会
佐賀県教育委員会、静岡県埋蔵文化財センター
静岡大学人文社会科学部考古学研究室
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
栃木県立博物館、日本大学文理学部考古学研究室
沼津市文化財センター、浜松市博物館、袋井市生涯学習課
常陸大宮市教育委員会、三島市教育推進部文化財課



印刷物：（1）チラシ

サイズ：A4

数量：15,100枚

紙質：微塗工紙 四六判 86kg

（2）ポスター

サイズ：B2、A3

数量：330枚、1,580枚

紙質：マットコート 四六判 110kg

（3）図録

構成：A4 74頁 22字×29行×3段

無線綴じ製本・表紙PP加工

数量：700部

紙質：＜表紙・裏表紙＞

2ページ アートポスト 180kg

＜見返しあり＞

4ページ 色上質 特厚口

＜中表紙・目次等＞

3ページ コート 110kg

＜図録編＞

37ページ コート 110kg

＜論考編＞

25ページ コート 110kg

＜参考引用文献＞

2ページ 110kg

＜奥付＞1ページ 110kg

担当者：梶山 倫裕、渡邊 智大

関連事業

(1) シンポジウム①「登呂の時代の墓と祭祀」

概要：登呂遺跡の時代の墓と祭祀の姿について、
基調講演や講演をいただき、パネルディスカッションを行った。

日程：令和5年3月4日（土）13：10～16：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：明治大学文学部教授 石川 日出志 氏
静岡市観光交流文化局次長 岡村 渉 氏
静岡大学人文社会科学部教授
篠原 和大 氏

人数：78人

費用：200円



(2) シンポジウム②「弥生時代墓制の変化と社会」

日程：令和5年3月5日（日）9：30～16：10

会場：登呂博物館1階登呂交流ホール

主催：静岡県考古学会

共催：静岡市立登呂博物館

基調報告者：大阪市文化財協会 大庭 重信 氏
横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財
センター 古屋 紀之 氏

講演者：静岡大学人文社会科学部教授
篠原 和大 氏

人数：約90人



(3) 展示解説

日程：3月18日（土）、4月15日（土）、
5月3日（水祝）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：74人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』2月号
- ・『すろーかる』2、3月号
- ・「リビング静岡」令和5年2月号
- ・JR東海在来線車内ポスター 令和5年3月
- ・静岡鉄道車両サイネージ 令和5年3月
- ・月間『歴史人』令和5年4月号
- ・静岡県文化振興財団
『GRANSHIP マガジン 32号・33号』
- ・Webサイトへの登録
- ・静岡新聞

4-2 夏季企画展「登呂遺跡で考える SDGs」

会期：令和5年6月17日(土)～8月27日(日)
≪62日間≫

概要：「博物館とSDGs」というテーマをもとに、登呂遺跡で生活をしていた人々の暮らしの工夫や、現在、登呂博物館が取り組んでいる「持続可能な博物館活動」に関する事業を紹介した。

観覧者：10,423人

一般 4,734人

高校生・大学生 575人

小学生・中学生 5,114人

点数：53点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター
個人

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4両面

数量：15,100枚

紙質：コート紙 90kg

(2) ポスター

サイズ：B2片面、A3片面

数量：B2 330枚、A3 1,580枚

紙質：マットコート紙 四六判 110kg

担当者：渡邊 智大



関連事業

(1) イベント「出張博物館 in しずチカ」

日時：令和5年7月9日（日）10：00～16：00

会場：JR 静岡駅北口地下広場「しずチカ」

イベントスペース

概要：しずチカにて行う登呂遺跡発見 80 周年記念 PR 展示に合わせて、しずチカイベントスペースで土器に触れる体験や、ミニチュア土器づくり等を実施し、「博物館に行く」「展示物をケースの外から見る」といったバリアを取り除き、様々な人に学習の機会を提供した。

料金：無料

参加者：ミニチュア土器づくり：56 人

記念お茶パック配布：488 人



(2) イベント「田下駄体験 in だろん子パーク」

日時：令和5年8月5日（土）・6日（日）

10：00～15：30

会場：登呂遺跡 だろん子パーク内

概要：田んぼ事業の紹介として、田下駄を実際に水田で履く事業を、とろムラ体験フェスティバルに合わせて実施した。

料金：無料

参加者：225 人（5 日：111 人、6 日：114 人）



(3) 展示解説

日時：令和5年6月25日（土）

7月17日（日）

8月19日（土）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：100 人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』6月号
- ・『すろーかる』6、7、8月号
- ・静岡鉄道駅貼りポスター 7/29～8/11
- ・静岡県文化振興財団『GRANSHIP マガジン 34 号』
- ・web サイトへの登録
- ・静岡新聞 ・中日新聞
- ・読売新聞 ・朝日新聞 など



4-3 秋季企画展「アンダー・ザ・駿府城」

会期：令和5年9月23日（土）～11月19日（日）
 ≪50日間≫

概要：駿府城の城跡を含む周辺地域の下層には「駿府城内遺跡」と呼ばれる中世から弥生時代までの核時代の痕跡が残る遺跡が広がっています。あまり知られていない駿府城の下に広がる静岡の歴史について、これまでに行われた発掘調査の成果をもとに紹介した。

観覧者：5,064人

一般	3,381人
高校生・大学生	165人
小学生・中学生	1,518人

点数：180点

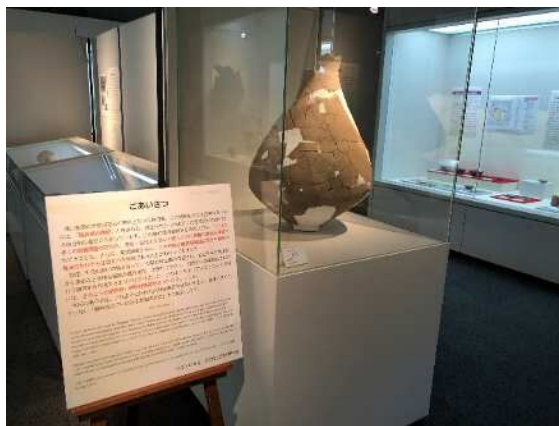
印刷物：（1）チラシ

サイズ：A4
 数量：15,100枚
 紙質：マットコート紙 四六判 90kg

（2）ポスター

サイズ：B2、A3
 数量：330枚、1,580枚
 紙質：マットコート紙 四六判 110kg

担当者：梶山 倫裕



関連事業

(1) 関連講演「駿府城の地下を掘る～その地形と歴史を求めて～」

概要：これまでの発掘調査結果に基づく、駿府城周辺地域の各時代の地理的・歴史的特徴を探る。

日時：令和5年11月5日（土）13：30～15：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：静岡市文化財課 小泉 祐紀 氏

参加者：56人



(2) 静岡市歴史博物館連携事業

①まるわかり駿府城スタンプラリー

概要：3カ所すべてを巡ってスタンプを集めた人に、3館オリジナル缶バッジをプレゼントする。

期間：令和5年10月14日（土）～12月10日（日）

連携先：静岡市歴史博物館・駿府城公園

参加者：468人



②わかりやすい歴史・地域のおなはし

概要：駿府城エリアに古代から連綿と残る人々の生活の痕跡とその特徴を紹介した。

日時：令和5年11月18日（土）13：30～14：30

会場：静岡市歴史博物館1階市民活動スペース

講師：静岡市立登呂博物館 梶山 倫裕

参加者：33人



(3) 展示解説

日程：10月14日（土）、11月12日（日）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：40人

広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』9月号
- ・『すろーかる』9月号、10月号、11月号
- ・静岡県文化振興財団
『GRANSHIP マガジン 35号』
- ・静岡鉄道駅貼りポスター 9/16～10/6
- ・月刊『歴史人』令和5年10月号
- ・web サイトへの登録 など

4-4 冬季企画展「登呂遺跡と海」

会期：令和5年12月9日（土）～令和6年2月4日（日）
≪42日間≫

概要：登呂遺跡のすぐ近くには、水産資源豊かな駿河湾が広がっており、登呂遺跡でも、丸木舟・漁撈具・魚の骨など海との関連を示す資料が多数見つかった。この展示では、海に関連する資料から弥生時代の人々がどのように海を利用していたのかを紹介した。

観覧者：3,293人

一般	2,255人
高校生・大学生	121人
小学生・中学生	917人

点数：105点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター

東海大学

沼津市教育委員会

ふじのくに地球環境史ミュージアム

写真資料提供：京都大学総合博物館

兵庫県立考古博物館

鳥取県地域社会振興部文化財局とっとり弥生の王国推進課

大阪府立泉大津高等学校

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

大阪府立近つ飛鳥博物館

静岡県埋蔵文化財センター

印刷物：（1）チラシ

サイズ：A4

数量：15,100枚

紙質：コート紙 四六判 90kg

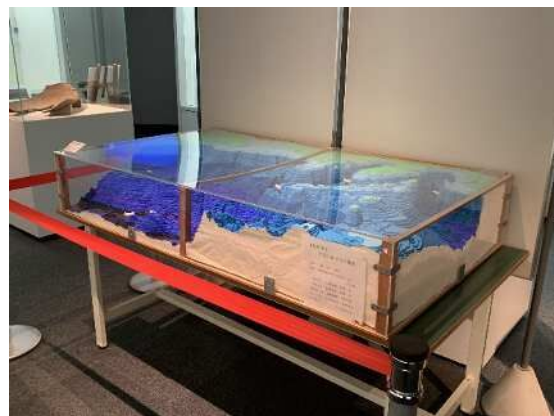
（2）ポスター

サイズ：B2、A3

数量：330枚、1,580枚

紙質：マットコート紙 四六判 110kg

担当者：清水 千佳子



関連事業

(1) 舟形木製品を作ろう！

概要：木工体験で舟形木製品を作る。

日時：令和6年1月21日（日）10：00～15：00

会場：登呂博物館 体験サポート施設

料金：300 円

人数：8 組（12 人）



(2) 展示解説

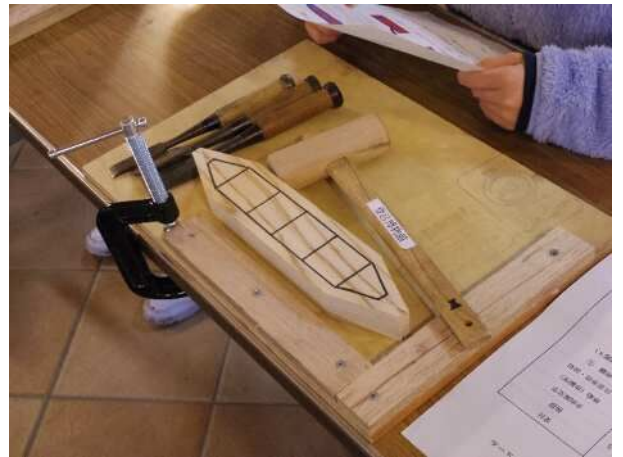
日程：12 月 17 日（日）、1 月 20 日（日）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館 2 階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：41 人



広報・報道

- ・静岡新聞「弥生時代 海との関連探る静岡・登呂博物館で企画展」
- ・中日新聞 Web 版「登呂遺跡と海に関わり発見 80 周年、丸木舟や漁具展示」
- ・エフエムハイラジオ（12 月 15 日放送）
- ・静岡市広報紙『静岡気分』12 月号・1 月号
- ・『すろーかる』12、1、2 月号
- ・静岡鉄道駅貼りポスター 12/9～12/22
- ・静岡鉄道 日本平ロープウェイサイネージ 1 月
- ・静岡県文化振興財団
『GRANSHIP マガジン 35 号・36 号』
- ・Web サイトへの登録



4-5 春季企画展「古代の稲作と実験考古学」

会期：令和6年2月23日（金祝）～ 5月12日（日）
 ≪72日間≫

概要：登呂遺跡の復元水田を活かした実験考古学の取組を紹介し、古代の稲作の実像に迫る。

観覧者：7,957人

一般 5,267人
 高校生・大学生 513人
 小学生・中学生 2,177人

点数：80点

資料協力：岐阜県文化財保護センター
 静岡県埋蔵文化財センター
 静岡大学人文社会科学部考古学研究室

印刷物：（1）企画展チラシ

サイズ：A4
 数量：15,100枚
 紙質：コート紙 四六判 90kg

（2）ポスター

サイズ：B2、A3
 数量：330枚、1,580枚
 紙質：マットコート 四六判 110kg

（3）シンポジウムチラシ

サイズ：A4
 数量：3,500枚
 紙質：コート紙 四六判 90kg

（4）シンポジウムリーフレット

構成：A4 28頁 中綴じ製本
 色数：4C/4C印刷
 印刷：オフセット印刷
 紙質：マットコート紙 四六判 90kg
 数量：300部

担当者：渡邊 智大



関連事業

(1) 国際シンポジウム①「日韓における史跡の整備と活用の今後」

概要：史跡の調査研究と活用方法について、日本と韓国の
古代農耕文化をひも解く取組を行う登呂遺跡・韓国
扶余郡松菊里遺跡の双方の視点で深めた。

日時：令和6年3月16日（土）10：00～16：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

主催：静岡市立登呂博物館

後援：静岡大学（人文社会科学部、人文社会科学部アジア
研究センター、サステナビリティセンター、登呂農
耕文化研究所）

基調講演者：東京都立大学大学教育センター特任教授／
静岡大学客員教授 山田 昌久 氏

報告書：韓国伝統文化大学教授 李 基星（イ・ギソン） 氏
韓国扶余郡文化財課 朴 炳旭（パク・ビョンウク） 氏
静岡大学人文社会科学部教授 篠原 和大 氏
静岡市観光交流文化局次長 岡村 渉 氏

人数：80人



(2) 国際シンポジウム②「農耕空間の多様性と弥生農耕の形成」

概要：古代の農耕文化に関する最新の研究成果を日韓双方
の視点で報告しディスカッションした。

日時：3月17日（日）9：15～16：30

会場：登呂博物館1階登呂交流ホール

主催：静岡大学登呂農耕文化研究所

共催：静岡市立登呂博物館

後援：静岡大学（人文社会科学部、人文社会科学部アジア研究センター、サステナビリティセンター）

基調講演者：高麗大学 助教授 李 僖珍（イ・ヒジン） 氏

基調報告者：帝京大学文化財研究所教授 中山 誠二 氏

大阪市文化財協会 大庭 重信 氏

愛媛大学埋蔵文化財調査室特任准教授 三吉 秀充 氏

徳島大学大学院総合科学研究部教授 中村 豊 氏

関西大学非常勤講師 松田 順一郎 氏

株式会社パレオ・ラボ 辻 康男 氏

奈良県橿原考古学研究所 岡田 憲一 氏

韓国地質環境研究所所長 柳 春吉（リュ・チュンギル）氏

コーディネーター：静岡大学人文社会科学部教授 篠原 和大 氏

人数：90人



(3) 関連イベント「弥生土器で炊飯実験&古代米試食会」

日時：4月14日(日)、5月5日(日)

場所：登呂遺跡 メモリアル広場

費用：無料

人数：220人(4月14日70人、5月5日150人)



(4) 展示解説

日程：3月23日(土)、4月20日(土)、5月3日(金祝)

時間：10:30～、14:00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：91人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』3月号
- ・『すろーかる』3、4、5月号
- ・「リビング静岡」令和5年2月号
- ・J R 静岡駅コンコースビジョン 3月
- ・週刊朝日 MOOK『歴史道 第32号』
- ・静岡県文化振興財団『グランシップマガジン 36号 37号』
- ・Web サイトへの登録
- ・静岡新聞
- ・朝日新聞

4-6 特別展・企画展開催実績（リニューアル後） ※網掛けは特別展

年度	期	展覧会名	観覧者数
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶	16,413
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展	4,595
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめての一步	5,817
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡	18,937
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値	11,833
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011	8,780
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢銈介が愛した縄文・弥生	4,006
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッションショー	3,766
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る	4,070
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡	13,877
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40 周年記念展 登呂遺跡はじめて物語 ～40 メモリーズ～	12,410
	2012.10.6～12.9	舟の力 ～古代人があこがれたノリモノ～	7,275
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔 ～見て、触って、動かす農具～	29,972
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた	8,881
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70 周年記念 弥生の戦い ～その時登呂ムラは!?～	5,925
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡	23,787
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡	9,392
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂 ～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～	5,103
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち	20,582
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる	8,767
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展	4,261
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情	21,211
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展	8,983
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂	6,949
	2017.1.7～3.5	静岡考古展	4,520
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物	13,559
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代	8,747
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展	4,748
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展	5,011

年度	会期	展覧会名	観覧者数
29-30	2018.3.21～6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ	14,025
30	2018.6.30～9.9	富士山がみえる	7,008
	2018.9.29～12.16	平成×登呂	5,155
	2019.1.12～3.3	登呂をとめ 安倍をとこ	3,121
30-31	2019.3.23～6.16	石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－	15,276
1	2019.7.13～9.8	FIRE	6,697
	2019.10.5～12.1	芹沢銈介と考古(学)	4,139
	2020.1.11～3.1	古墳のきらめき ー賤機山古墳展ー	3,650
1-2	2020.3.20～6.14	お米づくり、はじめました。 ー静岡市の弥生時代ー	1,482
2	2020.7.3～9.13	実測	6,695
	2020.10.3～11.29	水とともに生きる	5,812
	2021.1.9～2.28	「ちっちゃ」展	2,885
2-3	2021.3.20～6.13	前方後円墳がやってきた	9,129
3	2021.7.3～9.12	ひょっこり有度山展	5,456
	2021.10.2～11.28	WOOD ー木を活かす弥生人-	6,443
	2022.1.8～2.27	真っ直ぐな刀展	2,974
3-4	2022.3.19～6.12	誕生スルガノクニ ー静岡市の奈良・平安時代ー	11,640
4	2022.7.9～8.28	登呂博今昔ものがたり	6,746
	2022.9.17～11.6	祀りとまつり展	4,860
	2022.12.3～2023.1.29	コメ作りの考古学と民俗学	3,452
4-5	2023.2.25～5.21	静岡に眠る弥生時代の開拓者	9,016
5	2023.6.17～8.27	登呂遺跡で考える SDGs	10,423
	2023.9.23～11.19	アンダー・ザ・駿府城	5,064
	2023.12.9～2024.2.4	登呂遺跡と海	3,293
	2024.2.23～5.12	古代の稲作と実験考古学	7,957

4-7 通常展示

(1) 常設展示室(博物館2階)

概要：登呂遺跡にあった集落(ムラ)の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや映像媒体などを使った、直感的な展示を行っている。日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料で分かりやすく伝えている。また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室(博物館1階)

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された建物・道具によって、登呂ムラの様子が復元されている。貫頭衣試着体験や、弥生時代の米づくりの体験が可能なスペースとし、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用できる。

室内には、体験指導員や博物館ボランティアが常駐し、来館者の体験補助と説明を行っている。

博物館1階は無料で体験できる。



5 保存活用

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした458点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期間：平成30年度～令和13年度

費用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対象：458点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化処理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 令和5年度実績

数量：25点

修理：静岡県埋蔵文化財センター

運搬：日本通運株式会社静岡支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経費：3,264,056円

5-2 資料貸出（出土品等）

（1）貸出先：上田市立美術館・目黒区美術館

展示名：「中村直人－オリエンタル／モニュメンタル」

期間：令和5年3月30日（木）～9月15日（金）

※展示期間：（上田市立美術館）令和5年4月15日（土）～6月11日（日）

（目黒区立美術館）令和5年7月15日（土）～9月3日（日）

対象：中村直人『草薙剣』木像 1点



5-3 寄贈

（1）対象：ニホンジカ剥製

数量：1点

寄付者：個人



6 教育普及

6-1 主催事業

(1) 登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稲作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：令和5年4月～令和5年12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：14 団体



(2) 市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・粃摺りまでの稲作体験を行う。

期間：令和5年4月～令和5年12月

会場：復元水田

料金：500 円

参加者：36 組（41 区画）



(3) 田植え体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：令和5年5月20日(土)、21日(日)、27日(土)、
28日(日)、6月3日(土)、4日(日)、10日(土)、
17日(土)、18日(日)の9日間

会場：復元水田

料金：無料

人数：438 人



(4) 登呂遺跡の田んぼで生物観察

概要：復元された登呂遺跡で生物観察を行う。

日時：令和5年7月15日(土) 10:00～12:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

協力：常葉大学教育学部 久留戸教授、同研究室学生8人

静岡市環境学習指導員 守屋氏

料金：無料

人数：10 人（定員 10 人）



(5) とろムラ体験フェスティバル

概要：夏休みの来館者を対象に、火起こし、丸木舟乗船、弓矢等の体験やイベントを行う。

日時：令和5年8月5日(土)・6日(日)

10:00～15:30

会場：登呂博物館、登呂遺跡

料金：無料

人数：計1,551人



(6) 子ども学芸員養成講座

概要：考古学系の学芸員の仕事（発掘・測量・拓本・調査研究）を体験する。

日時：令和5年8月17日(木)、24日(木)

9:00～16:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：300円

人数：計9人（小学5年生～中学3年生）



(7) ドロン子パーク

概要：より小さな子どもたちに、登呂遺跡の水田に親しみをもってもらえるようにする。

期間：令和5年8月5日(土)、6日(日)、11日(金祝)、
12日(土)、13日(日)、19日(土) 20日(日)、
26日(土)、27日(日)、31日(木)の10日間

会場：登呂遺跡内復元水田

料金：無料

参加者：509人



(8) みごほうきづくり体験

概要：収穫した稲藁を再利用し、「みごほうき」をつくる。
併せて、登呂遺跡での稲作や登呂ムラで行われた「再利用」についても紹介する。

日時：令和5年9月16日(土) 10:00～11:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：300円

人数：10人



(9) 祭殿見学会

概要：祭殿の扉を開放し、梯子を使って祭殿内をのぞき込む。
中には複製の祭祀具等を配置し、まつりの様子を感じることができるようにした。また、貫頭衣や装飾品を着用できる体験も行う。

日時：令和5年10月7日（土） 10：00～15：00

会場：登呂遺跡 復元祭殿前

協力：前登呂博物館協議会委員 伊熊 修 氏

料金：無料

人数：祭殿見学会：688人

貫頭衣体験：123人



(10) 赤米収穫体験～稲刈り～

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・
粃摺りを体験する。

日時：令和5年10月1日（土）、8日（日）、14日（土）、
22日（日）、29日（日）の5日間

会場：復元水田

料金：200円

人数：394人



(11) 赤米収穫体験～石器づくり～

概要：様々な形の石を研いで石器をつくる。

日時：令和5年10月1日（日）、8日（日）、9日（月祝）、
14日（土）、15日（日）、22日（日）、29日（日）の
7日間

会場：登呂遺跡 祭殿下

料金：100円

人数：229人



(12) 登呂遺跡探検ツアー

概要：スルガフェスの体験ブースの一つとして出店した。

日時：令和5年10月14日（土）10：00～15：00

会場：登呂遺跡、登呂博物館

参加者：126人



(13) ハッピートロウイン

概要：登呂遺跡西側メモリアル広場に学生らが交流をしながら、“ムラ”をつくり、まつりを再現した。

※はびまま×登呂遺跡「はびままトロウイン」を同時開催

日時：令和5年10月21日（土） 10：00～17：00

10月22日（日） 10：00～15：00

会場：登呂遺跡西側メモリアル広場

参加者：人 数：6,364人（博物館入館者数）



(14) しめ縄づくり体験「お正月は手作りのしめ縄で」

概要：復元水田で収穫した稲の藁でしめ縄を作る。

日時：令和5年12月23日（土）9：30～12：30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：増田 作一郎 氏

料金：300円

人数46セット97人



(15) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した稲穂を小袋に入れたものを配布する。

日程：令和6年1月4日（木）、5日（金）、6日（土）

場所：登呂博物館2階 常設展示室前

料金：無料（要観覧料）

数量：300個



(16) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焼き上げ、豊穰を祈願する。

日時：令和6年1月14日（日） 11：00～11：30

場所：登呂遺跡

料金：無料

人数：60人



(17) 弥生土器づくり体験

概要：土器についての知識を学び、土器の成型から野焼きまでを行う。

日時：令和6年2月3日（土）、4日（日）、3月9日（土）

会場：登呂博物館1階交流ホール、登呂遺跡

料金：300円

人数：20組



(18) ミニとろフェス

概要：春分の日の来館者を対象に、火起こし、弓矢等の体験やイベントを行う。

日時：令和6年3月20日(水祝)

10:00 - 15:30

会場：登呂博物館、登呂遺跡

料金：無料

人数：計423人



6-2 共催・連携事業

(1) 登呂ミュージアムストリート vol.5

概要：3館連携でスタンプラリーを開催。

ワークショップでオリジナルうちわ作成を実施。

会期：令和5年8月1日（火）～8月31日（木）

会場：登呂博物館、芹沢銈介美術館、駿府博物館

記念品：192枚（登呂博物館うちわ配布数）

連携先：芹沢銈介美術館、駿府博物館、（株）やまだいち



(2) 静岡市文化財展

概要：前年度に静岡市内から出土した資料などを展示。

会期：令和5年9月23日（土）～10月22日（日）

会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー

観覧者数：387人（アンケート回答数）

連携先：静岡市文化財課



(3) 駿河トロペーWeek2023

概要：駿河区役所周辺の企業・施設・団体が一体となり、各所で様々なイベントが繰り広げられる。

日時：令和5年10月7日（土）～14日（土）

会場：駿河区役所、登呂博物館・登呂遺跡ほか

連携先：駿河区地域総務課



(4) 第61回登呂まつり

概要：登呂遺跡の歴史文化を紹介し、地域の活性化を図るためのおまつり。

日時：令和5年10月7日（土）、8日（日）

会場：登呂遺跡、登呂博物館

連携先：登呂まつり実行委員会



(5) 常葉大学連携事業

参加型紙芝居「追え！！ 登呂ムラを」

概要：常葉大学の学生が登呂ムラに関する参加型紙芝居を上演した。

日時：令和5年10月7日（土）

会場：登呂博物館1階交流ホール



(6) スルガフェス

概要：秋をテーマとして、駿河区の自慢の”食”と楽しい
“ワークショップ・アクティビティ”が集結。

日時：令和5年10月14日（土）10：00～15：00

会場：登呂遺跡、登呂博物館

来場者数：約 8,500 人

連携先：駿河区地域総務課



(7) 登呂博物館 ナイトミュージアム

概要：トロベールWeek の連携事業として、博物館の夜間特別
会館に加え、遺跡のライトアップ等を行った。

日時：ライトアップ

令和5年10月7日（土）、8日（日）、

9日（月）、13日（金）、14日（土）、

夜間開館

令和5年10月14日（土） 18：00～20：00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：791 人

連携先：芹沢銈介美術館



(8) はぴまま×登呂遺跡 はぴままトロウィン

概要：子育て支援団体「はぴまましずおか」による飲食・
物販・体験イベント「はぴままトロウィン」を共催
開催した。

日程：令和5年10月21日（土）、22日（日）

10：00～15：00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：6,364 人（博物館入館者数）

連携先：はぴまましずおか



6-3 講師派遣・出張講座

(1) 市政出前講座

「静岡市の宝・登呂遺跡 ～充分（重文）知ってる？その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

- ・ 静岡市立高松中学校

日時：令和5年5月16日（火） 9時～10時30分

講師：登呂博物館学芸員 渡邊 智大

人数：132人



- ・ 静岡大学教育学部

日時：令和5年5月30日（火） 13時～13時30分

講師：登呂博物館学芸員 清水 千佳子

人数：30人



- ・ 静岡市立南部小学校 放課後子ども教室

講師：登呂博物館学芸員 渡邊 智大

人数：29人



- ・ 東海大学付属静岡翔洋小学校 6年生

日時：令和5年7月12日（水） 9：30～10：40

講師：登呂博物館学芸員 清水 千佳子

人数：58人



- ・ 高部高齢者学級「平成義塾大学」

日時：令和5年7月28日（金） 9：30～11：30

講師：登呂博物館学芸員 清水 千佳子

人数：49人

- ・ 用宗老人福祉センター

日時：令和6年3月22日（金） 10：30～11：30

講師：登呂博物館学芸員 清水 千佳子

人数：8人

(2) サイエンスピクニック

概要：静岡科学館る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展した。題名を「弥生のアクセサリー」と称し、弥生人の装飾についてパネルで紹介し、銅の小札板に弥生時代の代表的な絵や模様を参考に線刻を刻んだ銅環を作成する体験を実施した。

日時：令和5年11月11日（土）12：00～16：00

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：登呂博物館職員 渡邊 智大

登呂博物館体験指導員 巻田 直紀

参加者：66人



7 職場体験・博物館実習等

7-1 職場体験

中学生の職場体験について、各校おおむね3日程度、一校あたり最大3人で受け入れた。弥生体験展示室での体験補助、屋外体験の補助、登呂遺跡で発見したことの展示ボード作成などの業務を行った。

番号	期間	学校	学年	人数
1	令和5年5月10日（水）～12日（金）	静岡市立大里中学校	2	3
2	令和5年5月16日（火）～18日（木）	静岡市立高松中学校	2	2

7-2 視察等受入

番号	受入日	団体	目的
1	令和5年7月4日（火）	御所野縄文博物館	遺跡・施設見学
2	令和5年7月6日（木）	京都府教育庁指導部文化財保護課	遺跡・施設見学
3	令和5年10月5日（木）	大分県宇佐市議会	遺跡・施設見学
4	令和6年2月18日（日）	浜松市博物館	遺跡・施設見学

7-3 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：令和5年8月3日（木）～10日（木）≪7日間≫

人数：11人（定員10人）

（内訳）法政大学大学院1 中央大学1 東京学芸大学1 滋賀県立大学1 龍谷大学1

お茶の水女子大学1 都留文科大学1 京都産業大学1 青山学院大学1

専修大学1 静岡大学1

内容：1日目 概要説明、館内見学、教育普及案発表

2日目 収蔵庫見学、教育普及事業打合せ、保存処理施設見学

3日目 教育普及事業補助

4日目 教育普及事業補助

5日目 芹沢銈介美術館見学、写真撮影実習、資料取扱実習

6日目 展示計画、展示準備

7日目 展示準備、展示・発表

8 広報

8-1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、210×396mm（仕上 210×99mm）、蛇腹折り（四つ折り）



(2) 登呂遺跡イラストマップ

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。

仕様：上質紙 四六判 70kg、A4 判（両面印刷）



(3) 年間スケジュール

仕様：マットコート紙 四六判 90kg、A4 判（三つ折り）

部数：15,000 部

備考：A3 判の紙を使い、裏面には芹沢銈介美術館の年間スケジュールを掲載。



(4) その他

各種教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設、近隣の町内会等に発送。

8-2 ウェブサイト・SNS

(1) 登呂博物館ホームページ

平成 22 年度より運用を行ってきた登呂博物館のホームページを一新。令和 2 年 1 月に新しいホームページを公開した。登呂博物館及び登呂遺跡の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展やイベントの情報、お知らせ等を配信する。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp)



(2) こどもトロベーパーク

令和 2 年 3 月、登呂遺跡の概要を小学生にもわかりやすく説明するウェブサイト「こどもトロベーパーク」を公開した。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp/torobepark-info/)



(3) 登呂博物館 X (旧 Twitter)

登呂博物館の公式 X (旧 Twitter) アカウントを開設。令和元年 10 月より投稿を開始した。登呂博物館で行われる企画展やイベントに関する最新情報のほか、登呂遺跡の日常風景等を主に写真付きで配信する。(https://x.com/torohaku_torobe)



8-3 報道・広告等

(1) テレビ・ラジオ

- ・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映
- ・静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか 土曜版』てくてくみつけ旅
- ・関西テレビ『よーいドン！』
- ・SBS 静岡放送「Sole いいね」
- ・日本テレビ 『ZIP!』 おどろきフライト！Go！Go！おどろん！
- ・NHK NHK ニュース『たっぷり静岡』
- ・テレビ静岡『fishbowl のもういちどデビューしちゃってもいいですか？』

(2) 新聞

- ・静岡新聞「有東遺跡弥生の木棺」（「登呂ムラ」祖先墓か、95 年に出土来月公開へ）
- ・静岡新聞「研究進み弥生観多様に」（書き換わる教科書）
- ・静岡新聞「潤沢予算で古代を演出」（80 年代発掘の吉野ケ里）
- ・静岡新聞「歴史観改めた価値不変」（終戦後に科学的調査）
- ・静岡新聞「初期農耕の実像に迫る」（静岡大 道具復元し米作り）
- ・静岡新聞「学芸員充実“復権”の鍵」（途絶えた長期的調査）
- ・静岡新聞「コメ作りの歴史探る」
- ・静岡新聞「大自在」
- ・静岡新聞『「登呂ムラ」祖先の木棺公開」
- ・静岡新聞「弥生時代の木棺 初公開」（静岡・登呂博物館 副葬品 130 点も展示）
- ・中日新聞「登呂博物館に弥生人が…」（鳥取で発掘「青谷上寺朗」復元像）
- ・静岡新聞「アイヌ文化 魅力に触れる」（駿河区でアドバイザー 衣装や工芸品紹介）
- ・毎日新聞「弥生の遺跡 発見 80 周年」
- ・静岡新聞「復元水田で田植え」
- ・中日新聞「登呂遺跡で古代米田植え」
- ・静岡新聞「田植えで学ぶ 食、環境」（駿河総合高「フードデザイン」授業）
- ・静岡新聞「三保松原と登呂遺跡」（周年祝う記念展示）
- ・読売新聞「登呂遺跡から SDG s 考える」（静岡で企画展）
- ・静岡新聞「ミニチュア土器作り挑戦」（J R 静岡駅地下で出張博物館）
- ・中日新聞「SDG s 古代出土品に学ぶ」（登呂博物館で企画展）
- ・朝日新聞「登呂遺跡 意義継承に力」（発見 80 年 細る教科書記述）
- ・静岡新聞「登呂遺跡発見 80 周年」（田んぼアートでお祝い）
- ・静岡新聞「登呂の 3 ミュージアム巡ろう」（スタンプラリーにうちわ作り）
- ・静岡新聞「みごほうき親子で製作」（駿河区・登呂博物館）
- ・静岡新聞「きょうから『登呂まつり』」（古代米おむすび配布やステージ、手筒花火も）
- ・静岡新聞「駿河区の魅力 登呂から発信」（「スルガフェス 秋穫祭」市内大学生が運営）
- ・静岡新聞「“弥生人”小屋づくりに挑戦」（常葉大生ら貫頭衣で仮装、登呂遺跡「トロウィン」）
- ・静岡新聞「赤米入りおはぎ いかが」（地域資源発信、城南静岡中・高生）
- ・静岡新聞「弥生時代 海との関連探る」（駿河区・登呂博物館 企画展）
- ・静岡新聞『「遺跡」縁に日韓交流を」（研究者来静 連携へ準備着々、静岡市・登呂 韓国・松菊里）

- ・静岡新聞「登呂遺跡 日韓で共同研究」（3月静岡、初の国際シンポ 稲作伝来の歴史に迫る）
- ・静岡新聞「ローカル文化」（稲作のムラ 海とも関係深く）
- ・読売新聞「静岡の中3 登呂遺跡で栽培」
- ・静岡新聞「『登呂遺跡』利活用 日韓で議論」（初の国際シンポ開幕静岡）
- ・静岡新聞「日韓の初期農耕 研究披露」（静岡・登呂遺跡 国際シンポ）

（3）雑誌等

ア 有料広告

- ・JR 東海在来線 C 額面ポスター
- ・JR 東海静岡駅コンコースビジョン
- ・静鉄駅ポスター掲出（新静岡、新清水等 計 16 駅）
- ・静岡鉄道 車両サイネージ
- ・静岡鉄道 日本平ロープウェイサイネージ
- ・るるぶ FREE 高速沿線ガイド（東名編）
- ・フリーペーパー道の駅 東海版
- ・るるぶこどもとあそぼ！首都圏'25
- ・歴史人 10 月号
- ・歴史道 第 32 号
- ・わお！ハイウェイマップ 静岡県静岡市エリア
- ・静大祭広告掲示

イ 無料広告・掲載（主なもの）

- ・『GRANSHIP マガジン』（静岡県文化財団）
- ・『すろ〜かる』（すろーらいふ）
- ・「広報しずおか 静岡気分」（静岡市広報課）
- ・『@エス』（静岡新聞 SBS）
- ・『日本歴史』（日本歴史学会）
- ・『ミュージアム通信』（特定非営利活動法人キッズアートプロジェクトしずおか）
- ・フリーペーパー KAKEHASHI（ナガハシ印刷）
- ・「タウン新聞しずおか」『リビング静岡』（静岡リビング新聞社）
- ・『静岡駅周辺のご案内』（ゼンリン）
- ・まっぷる静岡'24（昭文社）
- ・るるぶ情報版『るるぶ静岡 清水浜名湖富士山麓伊豆'24』（JTB パブリッシング）
- ・『共済だより Harmony』（法研）
- ・『トヨタユニオンニュース 和み 2023 年夏号』（トヨタ自動車東日本労働組合）

（4）ウェブサイト・その他（主なもの）

- ・静岡市ホームページ、静岡市 Facebook、静岡市 Twitter
- ・Dokka
- ・「IM」（インターネットミュージアム）
- ・MUSCA 全国のミュージアム・カレンダー
- ・「まなぼっと」（静岡県総合教育センター）

- ・「しずはく.net」(静岡県博物館協会)
- ・日本博物館協会ホームページ
- ・日本考古学協会ホームページ
- ・「@ S (アットエス)」(静岡新聞 SBS)
- ・キッズアートプロジェクトしずおか HP
- ・るるぶ Web (JTB パブリッシング)
- ・WEB サイト『We Love 静岡』

8-4 トロペー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロペー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロペーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロペー出演を含むボランティア活動を始めた。

活用状況 （駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。）

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	令和 5 年 10 月 7 日	第 61 回登呂まつり	登呂博物館、登呂遺跡
2	令和 5 年 10 月 14 日	スルガフェス	登呂博物館、登呂遺跡



9 その他

9-1 博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行っている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 () 内はボランティアの参加者数

月	会合	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4月	会議 (17)				
5月	会議 (18)		粃蒔き (4)		田植え体験 (7)
6月	会議 (17)	夏季企画展「登呂遺跡で考えるSDGs」(6)	代掻き・田植え (7)		田植え体験(9)
7月	会議 (23)				出張博物館 in しずチカ (5)
8月	—				とろムラ体験フェスティバル (25)
9月	会議 (20)	秋季企画展「アンダー・ザ・駿府城」(20)			みごほうきづくり (6)
10月	会議 (16)		稲刈り (8)		赤米収穫体験 (19)
11月	—		脱穀・もみすり (5)		
12月	会議 (20)			山梨県立考古博物施設見学 (27)	しめ縄づくり (23)
1月	会議 (19)	冬季企画展「登呂遺跡と海」(15)			どんど焼き (10) 木工体験 (4)
2月	—				土器づくり体験 (20)
3月	会議 (19)	春季企画展「古代の稲作と実験考古学」(16)			

(2) 登録者数：46人（令和5年4月1日時点。前年同時期47人）

(3) 平均活動人数：1日平均6.9人（前年度比0.7人増）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：8人

イ 募集期間：令和5年7月1日～12月24日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（応募者との日程調整の上、個別に対応）

	内容	時間
第1回	・ガイダンス（ボランティア体制、館概要、接遇） ・1階体験展示室の説明	1時間程度
第2回	・2階常設展示室の説明 ・登呂遺跡解説	1時間30分程度
可能者のみ	・ボランティア連絡会議へ出席（顔合わせ）	30分程度

9-2 博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿（◎会長）

ア 任期 令和5年8月1日から令和7年7月31日まで（令和6年4月2日時点）

選出区分	氏 名	職業・役職
市民	藤田 友子	市民公募委員
市民	鈴木 杏佳	市民公募委員
社会教育関係者	前田 晃宏	公益財団法人静岡市文化振興財団 職員
家庭教育関係者	木村 貴子	元市 PTA 理事・監査、前静岡市立高松中学校 PTA 会長
学識経験者	田宮 緑	静岡大学学術院 教育学領域 発達教育学専攻 幼児教育専修 教授
学校教育関係者	野田 修	静岡市立清水第二中学校長
学校教育関係者	鈴木 健介	静岡市立南部小学校長
◎学識経験者	堀切 正人	常葉大学教育学部教授 常葉美術館館長
学識経験者	丸山 真史	東海大学 人文学部 准教授
社会教育関係者	池田 水穂子	里山くらし LABO 代表、はびまましずおか

※ 敬省略

(2) 令和5年度協議会開催実績

ア 第1回

日時：令和5年7月13日（木）10：00～12：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：10人

傍聴者：1人

内容：（1）令和4年度の事業報告

（2）令和5年度の事業について

（3）議題「小中学校における地域の総合学習による登呂遺跡・登呂博物館の活用について」

イ 第2回

日時：令和6年2月15日（木）10：00～12：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：9人

傍聴者：0人

内容：（１）令和５年度の事業報告

（２）令和６年度の事業予定

（３）議題「登呂遺跡の持続可能な活用に向けた人材・団体の育成や連携について」

10 利用案内

(1) 開館時間

9:00～16:30（博物館）、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日、12月26日～1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料（通常期：令和4年4月1日時点） ※博物館1階は無料でご利用いただけます。

区分	一回	団体※ ¹	回数券※ ²	共通券※ ³	団体共通券※ ^{1,3}
一般	300円	220円	1,400円	580円	460円
高校生・大学生	200円	150円	930円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2「回数券」は5枚綴り

※3「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

ア 静岡市内に居住する70歳以上の者

イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒（これらに準ずる者）

ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

ア バス JR静岡駅南口から10分 しずてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車

イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから10分

(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから10分

ウ 駐車場 博物館南側（東名高速道路側道北側）に有料駐車場あり（普通車一回400円）

(5) 音声ガイド

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

ア システム 「pitatto」（ノムラテクノ株式会社）

イ 言語 日本語、英語、中国語（文字は簡体字）、韓国語

ウ 設置箇所 15（博物館内11、復元建物4）

エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出ししています。

オ 導入日 平成30年4月24日

静岡市立登呂博物館 館報 第 30 号 令和 5 年度

発 行 日：令和 6 年 6 月 28 日

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <https://www.shizuoka-toromuseum.jp>